









総務課長	総務課	所長	保存整備室	調査研究センター
			室長  係長 	室長  係長 

令和2年2月6日

復 命 書

名古屋市長 河村たかし 様

観光文化交流局名古屋城総合事務所

保存整備室 主査 若松 もえ 

本丸表二の門等耐震診断調査及び耐震対策についての打ち合わせのため、下記のとおり東京都千代田区（文化庁）を訪問しましたので、報告いたします。

記

1 日 時

令和2年1月27日（月）14:00～16:00

2 訪問先

文化庁（東京都千代田区）

文化資源活用課 西岡文化財調査官

訪問者：（名古屋城）若松

（文化財保護室）鈴木係長

（文化財保存計画協会）

（北茂紀建築構造事務所）

3 内 容

■表二之門等耐震診断について

◇耐震診断結果について

- ・表二之門、袖石垣部分について、現在の耐震診断検討状況を説明。
- ・構造計算に用いる検証の数値設定について、調査官に確認。
- ・現状診断においてクライテリアを満たしていることを確認。

■土塀について

- ・土塀については、建造物ではないため、史跡の構成要素として修理対応する。補助事業の相談は中井調査官。
- ・土塀の修理については、タイミングがあわないのであれば、建造物の表二の門の修理を先行して検討したほうが良いのではないかと。
- ・ただし、土塀は既に破損が著しく、早期対応が望まれる。門とあわせて修復できないのであれば、シートを被せるなど破損の進行を食い止めるため緊急的な対応についても検討してほしい。